

# 曾於文藝

うたごよみ

## 題字

末吉文化協会会員 瀬戸口 淳民氏

### 俳句

#### 末吉俳句会

母の声小さくなりて初電話

古藤 まゆ美

東風の母会う度同じ事を言ひ

下大田 正子

鬼追ひてふ奇習残せし寒の宮

宮路 生大子

#### 大陽俳句会

落葉焚くけむりが雲となりにけり

逆瀬川 節子

元日の海の夕風心酔ふ

岩重 みどり

寒灸や火のゆるやかに和み初む

大川 満

身は洞となる老梅の咲き初むる

福村 よう子

### 短歌

#### 末吉短歌会

魚影濃き辺野古の海の埋立ては

民意つぶしの牙を剥きたり

大森 巳喜生

晩秋の寂しくなりし田の畔を  
少しいろどる蓼の花むら

草野 ミツ子

母逝きて母似と言はれ母になき

子のなき生を我は生きゆく

泊 康

#### 大陽短歌会

三月ぶりに散髪終えし老い我に  
妻が笑って甘酒沸かす

渡辺 哲夫

白鷺の一羽が立ち木にとまりをり  
ことしも埒はそこなのか

川辺 玉枝

オレンジ色の明け空「嗚呼」と翔けゆける  
鴉の一日私の一日

広川 ミドリ

#### 財部短歌会

同じ本同じことばに共鳴す  
夫婦となりて二十年過ぐ

脇丸 洋子

もぎたての金柑ほおぼりコトコトと  
炭火で煮込む御節のし始め

永岡 冴子

### 薩摩狂句

#### にがごい会末吉支部

一方向き 未だも行つどち

口のぶん 古川 一幹

七十七歳 一方向きして

五体瓦落 浜田 一好

一方向き 走しい孫を見

自分がたれつ 桐野 奈世

一方向き 夫婦でパチンコ

世帯瓦落 鈴木 一泉

#### 大陽薩摩狂句会

避難所ん 子も加たらせつ

すい花見 神宮司 素水

元号が 変わいが望みや

願ご平和 福元 多喜子

安物も 着い人が着れば

凄ぜ変わつ 西山 美代子

質素し母 日常の繰いち

子に語つ 境 すやすや